

基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄							備考
計画の区分		研究科の専攻に係る課程の変更							
フリガナ 設置者		カッゴウホリジン ヒガシニッポンカクエン 学校法人 東日本学園							
フリガナ 大学の名称		ホッカイドウリョウガクイカクイダイン 北海道医療大学大学院							
大学本部の位置		北海道石狩郡当別町字金沢1757番地							
大学の目的		北海道医療大学大学院は、建学の理念及び教育理念に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、高度な専門知識・技術の修得に加え、保健・医療・福祉分野の横断的な知識及び豊かな人間性を有した高度専門職業人の養成と最先端の研究活動を通じて、社会の発展、人類の幸福に寄与できる教育・研究者の養成を目的とする。							
新設研究科等の目的		医療技術の進歩と医療環境の変化により高度化、多様化が進む保健・医療・福祉分野において、豊かな人間性と倫理観、深い学識、高度な研究能力を有し、保健・医療・福祉分野において指導的役割を担うことができる教育・研究者を養成する。							
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	医療技術科学研究科 臨床検査学専攻	年	人	年次人	人	博士（臨床検査学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	令和7年4月第1年次	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目
	計	3	2	－	6				
			2	－	6				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		薬学部 （2年次編入学定員）（△4） （3年次編入学定員）（△5） 福祉マネジメント学科 （3年次編入学定員）（△5） ※令和7年4月学生募集停止							【基礎となる学部】 医療技術学部 臨床検査学科 14条特例の実施
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数					修了要件単位数		
	医療技術科学研究科 臨床検査学専攻	講義	演習	実験・実習	計		10単位		
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員（助手を除く）	
新設分	医療技術科学研究科 臨床検査学専攻（博士後期課程）	教授人	准教授人	講師人	助教人	計人	人	人	
		7 (7)	1 (1)	6 (6)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	
	計	7 (7)	1 (1)	6 (6)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	－ (－)	
既設分	薬学研究科 薬学専攻（博士課程）	14 (14)	13 (13)	11 (11)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (0)	
	歯学研究科 歯学専攻（博士課程）	25 (25)	7 (7)	9 (9)	0 (0)	41 (41)	0 (0)	8 (8)	
	看護福祉学研究科 看護学専攻（博士前期課程）	12 (12)	7 (7)	5 (5)	2 (2)	26 (26)	0 (0)	16 (16)	
	看護福祉学研究科 臨床福祉学専攻（博士前期課程）	4 (4)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	1 (1)	
	看護福祉学研究科 看護学専攻（博士後期課程）	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	
	看護福祉学研究科 臨床福祉学専攻（博士後期課程）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	
	心理科学研究科 臨床心理学専攻（博士前期課程）	5 (5)	3 (3)	4 (4)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
	心理科学研究科 臨床心理学専攻（博士後期課程）	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	
	リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（博士前期課程）	18 (18)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	8 (8)	
	リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（博士後期課程）	16 (16)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	1 (1)	

医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 (博士前期課程)			7 (7)	1 (1)	6 (6)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	1 (1)			
計			115 (115)	37 (37)	54 (54)	5 (5)	211 (211)	0 (0)	－ (－)			
合 計			122 (123)	38 (38)	60 (60)	5 (5)	225 (225)	0 (0)	－ (－)			
職 種			専 属			その他			計			
事 務 職 員			59 (59)			48 (48)			107 (107)			
技 術 職 員			9 (9)			8 (8)			17 (17)			
図 書 館 職 員			1 (1)			14 (14)			15 (15)			
そ の 他 の 職 員			56 (56)			60 (60)			116 (116)			
指 導 補 助 者			0 (0)			0 (0)			0 (0)			
計			125 (125)			130 (130)			255 (255)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計	北海道医療大学歯 学部附属歯科衛生 士専門学校と共用 収容定員：150人 基準面積なし		
	校 舎 敷 地		98,662.63㎡		1,650.00㎡		0㎡		100,312.63㎡			
	そ の 他		57,315.74㎡		0㎡		0㎡		57,315.74㎡			
	合 計		155,978.37㎡		1,650.00㎡		0㎡		157,628.37㎡			
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
			71,337.34㎡ (71,337.34㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		71,337.34㎡ (71,337.34㎡)			
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室	大学全体		
			44室		71室		58室		16室			
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特 定不能なため、大 学全体の数	
	医療技術科学研究科 臨床検査学専攻		240,190 [77,286] (240,190 [77,286])		942 [95] (942 [95])		10,920 [8,367] (10,920 [8,367])		8,878 [7,308] (8,878 [7,308])	77,511 (77,511)		2,185 (2,185)
	計		240,190 [77,286] (240,190 [77,286])		942 [95] (942 [95])		10,920 [8,367] (10,920 [8,367])		8,878 [7,308] (8,878 [7,308])	77,511 (77,511)		2,185 (2,185)
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の 見 積 り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	研究科単位での 算出不能なため、学部との合 計		
		教員1人当たり研究費等			582千円	582千円	582千円	千円	千円			
		共同研究費等			15,574千円	15,574千円	15,574千円	千円	千円			
		図書購入費		4,876千円	4,876千円	4,876千円	4,876千円	千円	千円			
		設備購入費		41,738千円	41,738千円	41,738千円	41,738千円	千円	千円			
	学生1人当たり 納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	図書購入費には 電子ジャーナル・デー タベースの整備費 (運用コスト)を 含む。			
				950千円	750千円	750千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金・寄付金・資産運用・雑収入等								
大 学 等 の 名 称		北海道医療大学									※令和7年度より 学生募集停止（薬 学部2年次・3年次 編入） ※令和7年度より 学生募集停止（福 祉マネジメント学科3年 次編入）	
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地			
薬学部 薬学科		6年	160人	2年次 4 3年次 5 人	1,000人	学士 (薬学)	1.00	平成18年度	北海道石狩郡当別 町字金沢1757番地			
歯学部 歯学科		6	80	—	480	学士 (歯学)	0.85	昭和53年度	同上			
看護福祉学部 看護学科		4	100	—	400	学士 (看護学)	0.91 1.18	平成5年度	同上			
福祉マネジメント学科		4	80	3年次 5 人	330	学士 (臨床福祉学)	0.58	平成14年度	同上			
心理科学部 臨床心理学科		4	75	—	300	学士 (臨床心理学)	0.91	平成14年度	同上			
リハビリテーション科学部							1.12					

既設大学等の状況	理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.22	平成25年度	同上	
	作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	1.27	平成25年度	同上	
	言語聴覚療法学科	4	60	—	240	学士 (言語聴覚療法学)	0.90	平成27年度	同上	
	医療技術学部 臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査学)	1.13	平成31年度	北海道札幌市北区 あいの里2条5丁目	
	薬学研究科 薬学専攻博士課程	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.91	平成24年度	北海道石狩郡当別 町字金沢1757番地	
	歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.48	昭和63年度	同上	
	看護福祉学研究科 看護学専攻 博士前期課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.96	平成9年度	同上	
	看護学専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	1.50	平成11年度	同上	
	臨床福祉学専攻 博士前期課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.70	平成16年度	同上	
	臨床福祉学専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.33	平成16年度	同上	
	心理科学研究科 臨床心理学専攻 博士前期課程	2	20	—	40	修士 (臨床心理学)	0.85	平成16年度	北海道札幌市北区 あいの里2条5丁目	
	臨床心理学専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.66	平成16年度	同上	
	リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション専攻 博士前期課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.40	平成25年度	北海道石狩郡当別 町字金沢1757番地	
	リハビリテーション専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション科学)	2.16	平成27年度	同上	
	医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 修士課程	2	4	—	4	修士 (臨床検査学)	0.75	令和5年度	北海道札幌市北区 あいの里2条5丁目	令和5年4月開設
名称 先端研究推進センター 目的 本学の行動指針「21世紀の新しい健康科学の構築」に基づき、全学一体となって癌や生活習慣病などの疾患を予防の観点から追求し、人類の健康と医療の発展に寄与することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 令和2年4月 規模等 土地：524.00㎡ 建物：808.45㎡										
名称 予防医療科学センター 目的 地域医療の充実に貢献するため、医科学関連分野における研究を行うことを目的とする 所在地 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目 設置年月 平成17年7月 規模等 北海道医療大学病院に含む										
名称 北海道医療大学病院 目的 歯学教育等に係る臨床・研究の場として機能するとともに、歯科及び内科の診療を通じて地域医療の向上に寄与することを目的とする 所在地 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目 設置年月 平成17年7月 規模等 土地：6,392.73㎡ 建物：9,702.49㎡										
名称 歯科クリニック 目的 歯学教育等に係る臨床・研究の場として機能するとともに、歯科の診療を通じて地域医療の向上に寄与することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成17年7月 規模等 土地：3,848.00㎡ 建物：7,772.48㎡										
名称 心の相談センター 目的 心理臨床、発達支援に関する研究・研修・調査を行うとともに、本学大学院心理科学研究科臨床心理学専攻修士課程学生の心理臨床実習の場としての機能を果たすことを目的とする 所在地 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目 設置年月 平成15年6月 規模等 建物：141.16㎡										
名称 地域包括ケアセンター 目的 地域包括ケアに係る教育・研究の場として機能するとともに、在宅医療・介護等を通じて地域社会に貢献することを目的とする 所在地 北海道札幌市北区あいの里2条6丁目2番1号 設置年月 平成27年12月 規模等 土地：1,250.10㎡ 建物：437.50㎡										
名称 総合図書館及び総合図書館分館 目的 教育及び研究に必要な図書館資料を収集・管理し、本学職員並びに学生の利用に供すると共に、必要なすべての情報を提供するためのサービスシステムを確立することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地及び北海道札幌市北区あいの里2条5丁目 設置年月 昭和61年12月 規模等 土地：1,249.00㎡ 建物：4,866.96㎡										

附属施設の概要

名称 薬学部附属薬用植物園 目的 薬学教育の一環として、学生が薬用植物や生薬についての生きた知識を学ぶとともに、研究に資することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 昭和60年9月 規模等 総面積：2,900.00㎡（内、温室341.46㎡）
名称 北方系生態観察園 目的 日本薬局方に収載されている薬用植物をはじめ、様々な野鳥、昆虫、小動物などの観察園として活用することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成13年6月 規模等 総面積：153,060.00㎡
名称 北方系伝統薬物研究センター 目的 絶滅危惧種の栽培法の確立と遺伝子保存を進めるとともに、アイヌが伝承してきた北方系伝統薬物の生物多様性解析を通じて未知の薬効成分を探索して創薬に結びつけることを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成21年8月 規模等 土地：342.00㎡ 建物：552.60㎡
名称 アイソトープ研究センター 目的 放射性同位元素並びに放射線関係の施設及び機器等を総合的に管理し、これを諸分野の研究・教育のための共同利用に提供することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 昭和57年3月 規模等 土地：1,650.00㎡ 建物：1,239.09㎡
名称 動物実験センター 目的 研究・教育の用に供するため、実験動物を飼育管理し、実験実施者に対して、実験動物に関する情報を提供することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 昭和63年12月 規模等 土地：624.00㎡ 建物：1,866.70㎡
名称 全学教育推進センター 目的 全学教育プログラムを開発し、その実施ならびに教育改善を行い教育の発展に資することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成19年4月
名称 情報センター 目的 教育・研究及び大学の管理運営の効率化を図るために構築された学内LANの管理運用を行うとともに、本学における情報化を推進し、教育・研究の発展に資することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成10年6月
名称 保健センター 目的 学生及び職員の保健管理に関する業務を行うことを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成8年4月
名称 認定看護師研修センター 目的 臨床看護領域における高度の知識技能を持つ経験豊かな看護師を養成し、もって看護現場ならびに本学の臨床看護学教育の質的向上を図ることを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成17年4月
名称 薬剤師支援センター 目的 薬学部が有する諸機能と知的財産を広く社会に還元し、教育・研究等における医療現場との連携並びに薬剤師の生涯学習推進に寄与することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成22年10月
名称 国際交流推進センター 目的 海外の教育研究機関等との学術交流、学生交流その他の国際交流事業の推進を図ることにより、本学の国際化を推進することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成25年12月
名称 地域連携推進センター 目的 本学の持つ諸機能と知的財産を広く社会に還元し、社会に開かれた大学として地域社会へ貢献するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図ることを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成26年4月
名称 茨戸教育研修センター 目的 学生・職員の教育・研修に資するとともに、福利厚生に寄与することを目的とする 所在地 北海道石狩市生振1246番地 設置年月 平成6年6月 規模等 土地：1,155.00㎡ 建物：418.33㎡
名称 アドミッションセンター 目的 入学選抜方法の改善及び入学選抜の円滑な実施に資することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成29年4月
名称 IR推進センター 目的 本学における教育、研究その他の諸活動に関する情報の効果的かつ効率的な収集、分析等を行うことにより、本学の戦略的な大学運営の推進に資することを目的とする 所在地 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地 設置年月 平成30年4月

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 博士後期課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生命医療倫理学特講	1前	○	1			○			3		1				オムニバス方式
	最新臨床検査研究法特講	1前	○	1			○			4		2				オムニバス方式
	小計（2科目）	—		2	0	0	—			7		3				
専門科目	生体機能解析学特講	1・2後	○		2		○			2		1				オムニバス方式
	細胞病態学特講	1・2後	○		2		○			1		3				オムニバス方式
	生体情報解析学特講	1・2後	○		2		○			2						オムニバス方式
	分析化学検査学特講	1・2後	○		2		○			1		1				オムニバス方式
	感染生物学特講	1・2後	○		2		○			1		1				オムニバス方式
	小計（5科目）	—		0	10	0	—			7		6				
研究指導	臨床検査学特別研究	1～3通	○	6				○		7	1	4				
	小計（1科目）	—		6	0	0	—			7	1	4				
合計（8科目）		—		8	10	0	—			7	1	6				
学位又は称号		博士（臨床検査学）								学位又は学科の分野		保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）				
卒業・修了要件及び履修方法										授業期間等						
共通科目2単位（必修）、専門科目のうち専攻する専門領域の科目2単位、特別研究6単位（必修）、合計10単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。										1学年の学期区分			2学期			
										1学期の授業期間			15週間			
										1時限の授業の標準時間			80分			

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																
(医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 修士課程)																
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	自然科学特論	1・2 後	○	2			○			1	1					オムニバス方式
	臨床検査管理学特論	1・2 後	○	2			○			2		1				オムニバス方式
	臨床検査研究法特論Ⅰ	1前	○	2			○			1		2				オムニバス方式
	臨床検査研究法特論Ⅱ	1前	○	2			○			1		2				オムニバス方式
	保健医療データサイエンス特論	1・2 後	○	2			○								兼1	
	小計（5科目）	—		10	0	0	—			5	1	5	0	0	兼1	
応用 特色 科目	保健医療管理学特論	1・2 後	○		2		○			1		1				オムニバス方式・共同
	医療病態学特論	1・2 前	○		2		○			2						オムニバス方式
	医療予防医学特論	1・2 前	○		2		○			1		1				オムニバス方式
	先端医科学特論	1・2 前	○		2		○			1		1				共同
	医療英語特論	1・2 後	○		2		○			1		1				共同
	小計（5科目）	—		0	10	0	—			4	0	4	0	0	—	
専門科目	生体機能解析学特論	1前	○		2		○			1						オムニバス方式 共同
	生体機能解析学演習	1後	○		2			○		1						
	病態情報解析学特論	1前	○		2			○		1		1				
	病態情報解析学演習	1後	○		2				○	1		1				
	血液病態解析学特論	1前	○		2			○		1		1				オムニバス方式
	血液病態解析学演習	1後	○		2				○	1		1				オムニバス方式
	免疫細胞生物学特論	1前	○		2			○		1						オムニバス方式 オムニバス方式
	免疫細胞生物学演習	1後	○		2				○	1						
	感染生物学特論	1前	○		2			○		1		1				
	感染生物学演習	1後	○		2				○	1		1				
	遺伝子関連検査学特論	1前	○		2			○		1						オムニバス方式 オムニバス方式
	遺伝子関連検査学演習	1後	○		2				○	1						
	分子細胞病理学特論	1前	○		2			○				2				
	分子細胞病理学演習	1後	○		2				○			2				
	小計（14科目）	—		0	28	0	—			6	0	5	0	0	—	
研究 指導	生体情報解析学研究	1～2通	○	12				○		6		6				
	小計（1科目）	—		12	0	0	—			6	0	6	0	0	—	
合計（25科目）		—		22	38	0	—			7	1	6	0	0	兼1	
学位又は称号		修士（臨床検査学）							学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）				
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等							
必修科目である「共通科目」（必修10単位）のほか、「応用特色科目」から4単位以上、「専門科目」から4単位以上を履修し、「研究指導」の「生体情報解析学研究（必修12単位）」とあわせて30単位以上を修得すること。 ※「専門科目」については、7つの専門分野のうち、同じ専門分野である特論と演習を必ず含む4単位以上であること。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週間			
									1時限の授業の標準時間				80分			

基礎となる学部教育課程の概要(R4.4～)

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(医療技術学部 臨床検査学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員 (助手を除く)
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	○	1				○		1	1	4			6
	文章指導(日本語の表現)	1後	○	1			○								2
	人間と思想(哲学)	1後			2		○								1
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前			2		○								1
	人間と思想(心理学)	1後			2		○								1
	人間と文化(医療の人類学)	1前			2		○								1
	人間と文化(医療社会史)	1前			2		○								1
	人間と社会(医療の法学)	1後			2		○								1
	人間と社会(医療の経済学)	1後			2		○								1
	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1前	○	1				○							2
	英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1後	○	1				○							2
	英語 II(英語 IIA)	2前	○	1				○				1			
	英語 II(英語 IIB)	3前	○	1				○				1			
	英語 III(医療英語基礎)	4前	○	1			○			7		5			
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前			1			○							1
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後			1			○							1
	初修外国語(初級ロシア語)	1前			1			○							1
	初修外国語(中級ロシア語)	1後			1			○							1
	初修外国語(初級中国語)	1前			1			○							1
	初修外国語(中級中国語)	1後			1			○							1
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	○	1				○							3
	情報科学(情報科学)	1後	○	2			○								1
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1後	○	1				○							1
	統計学(基礎統計学)	1前	○	1			○					1			
	統計学(医療疫学統計学)	4前	○	2			○					1			1
	物理学(物理学)	1前	○	2			○								1
	化学(化学)	1前	○	2			○				1				
	生物学(生命科学)	1前	○	2			○								1
	自然科学入門(基礎数学)	1前				1	○				1				1
	自然科学入門(基礎化学)	1前				1	○								
	自然科学入門(基礎生物学)	1前				1	○			1					
	多職種連携(多職種連携入門)	1前	○	2			○			1		2	1		27
	多職種連携(多職種連携地域包括ケア実践演習)	3前			2			○				1			21
	医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	○	1			○								1
	小計(34科目)	—	—	23	22	3	—			7	1	7	1	0	67
専 門 基 礎 科 目	解剖学 I	1前	○	1			○			1					
	解剖学 II	1後	○	1			○			2		1			
	解剖学実習	2前	○	1					○	2		2		1	3
	生理学 I	1前	○	1			○			1					1
	生理学 II	1後	○	1			○			1					
	生理学実習	2前	○	1					○	1		1	1		共同
	生化学 I	1前	○	1			○			1					1
	生化学 II	1後	○	1			○			1					1
	生化学実習	2前	○	1					○	1		1			共同
	医学概論	1前	○	1			○			1					4
	病理学	1後	○	1			○			1					
	薬理学	2後	○	2			○								1
	栄養学	2後	○	2			○								2
	公衆衛生学	1後	○	1			○								1
専 門 基 礎 科 目	公衆衛生学実習	2前	○	1					○	1		1			共同
	関係法規	4前	○	1			○			2		1			オムニバス方式
	医療情報科学	4前	○	1			○					1			
	医用工学概論	2前	○	1			○					1			
	医用工学実習	2後	○	1					○			2			共同
	小計(19科目)			21	0	0	—			7	0	5	1	0	13

専門科目	臨床病態学Ⅰ	2前	○	1			○			1					1	オムニバス方式
	臨床病態学Ⅱ	2後	○	1			○			1						
	臨床病態学Ⅲ	2後	○	1			○			2						オムニバス方式・共同(一部)
	臨床検査医学総論演習	4前	○	1				○		2						
	臨床血液学Ⅰ	1後	○	1			○			1						
	臨床血液学Ⅱ	2前	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床血液学実習	2後	○	2					○	2		1				オムニバス方式・共同
	臨床血液学演習	4前	○	1					○	1		1				オムニバス方式
	医療分子機能科学	4前			1			○		1						
	臨床病理検査学	2前	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床細胞診断学	2後	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床細胞病理学実習	3前	○	3					○	1		1				共同
	臨床細胞病理学演習	4前	○	1				○		1		1				オムニバス方式
	分子細胞病理学	4前			1			○		1						
	臨床化学Ⅰ	2前	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床化学Ⅱ	2後	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床化学実習	3前	○	2					○	1		1				共同
	臨床化学演習	4前	○	1				○		1		1				オムニバス方式
	先進医療検査学	4前			1			○		1						
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	○	1			○			1						
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	○	1			○			1						
	臨床検査学総論実習	2後	○	1					○	1		1				オムニバス方式・共同
	臨床検査学総論演習	4前	○	1				○		1						
	核医学概論	2後	○	1			○									1
	遺伝子検査学	2前	○	1			○			1						
	遺伝子検査学実習	2後	○	1					○	1		1				共同
	遺伝子・染色体分析科学	4前			1			○		1						
	免疫検査学Ⅰ	2前	○	1			○			1						
	免疫検査学Ⅱ	2後	○	1			○			1						
	免疫検査学実習	3前	○	2					○	2		1				オムニバス方式・共同
	免疫検査学演習	4前	○	1				○		2						共同
	輸血・移植学	3前	○	2			○			1		1				オムニバス方式
	輸血・移植学実習	3後	○	2					○	1		1				共同
	免疫細胞生物学	4前			1			○		1						
	微生物学	2前	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	臨床微生物学	2後	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	微生物検査学	3前	○	1			○			1		1				オムニバス方式
	微生物学実習	3後	○	3					○	1		1				共同
	臨床微生物学演習	4前	○	1				○		1		1				オムニバス方式
	感染生物学	4前			1			○		1		1				
	寄生虫検査学演習	3前	○	1				○		1		1				オムニバス
	食品衛生学	4前			1		○									2
	臨床生理学Ⅰ	2前	○	1			○			1						
	臨床生理学Ⅱ	2後	○	1			○					1				1
	臨床生理学実習	3前	○	3					○	1		1	1			2
	画像検査学	3前	○	2			○					1	1			
	画像検査学演習	3後	○	2				○					1			1
	臨床生理学演習	4前	○	1				○		1		1	1			オムニバス方式
	実践超音波検査学	4前			1			○					1			
	検査機器学	1後	○	1			○			2		4				オムニバス方式
	基礎機器分析演習	1後	○	1				○		1		1				2
	臨床検査管理学Ⅰ	1前	○	2			○			4		6	1			オムニバス方式・共同
	臨床検査管理学Ⅱ	2前	○	2			○			2		3				オムニバス方式
	臨床検査管理学Ⅲ	3前	○	2			○			1						
	保健医療福祉演習	2前	○	1				○		3		3				6
	チーム医療・コミュニケーション演習	3後			1			○		3		3				2
	総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	○	1				○		8		5	1			オムニバス方式
	総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	○	1				○		3		3				オムニバス方式
	総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	○	4				○		7		6	1			オムニバス方式
	医療安全管理学演習Ⅰ	2前	○	1				○		6		5	1			オムニバス方式・共同
	医療安全管理学演習Ⅱ	3後	○	1				○		2		1				オムニバス方式・共同
	臨地実習	3後	○	12					○	7		6	1			共同
	卒業研究	4通	○	6				○		7		6	1			共同
	健康食品学 ※1、※2	4後				1	○			1		1				3
	小計(64科目)	—	—	89	9	1		—		8	0	6	1	0	26	
	合計(117科目)	—	—	133	31	4		—		8	1	7	1	0	99	

学位又は称号		学士(臨床検査学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)
卒業・修了要件及び履修方法			授業期間等	
全学教育科目29単位以上(うち必修23単位)、専門教育科目111単位以上(うち必修110単位)、合計140単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間)) ※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。 ※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。			1学年の学期区分	2学期
			1学期の授業期間	15週
			1時限の授業の標準時間	80分

基礎となる学部教育課程の概要 (R5.4～)

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(医療技術学部 臨床検査学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基幹教員以外の教員	
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	○	1				○		1	1	3			6	オムニバス方式・共同
	文章指導(日本語の表現)	1後	○	1			○			1					2	共同
	人間と思想(哲学)	1後			2		○								1	
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前			2		○								1	
	人間と思想(心理学)	1後			2		○								1	
	人間と文化(医療の人類学)	1前			2		○								1	
	人間と社会(医療の法学)	1後			2		○								1	
	人間と社会(医療の経済学)	1後			2		○								1	
	英語Ⅰ(英語コミュニケーションA)	1前	○	1				○							2	共同
	英語Ⅰ(英語コミュニケーションB)	1後	○	1				○							2	共同
	英語Ⅱ(英語ⅡA)	2前	○	1				○				1				
	英語Ⅱ(英語ⅡB)	3前	○	1				○				1				
	英語Ⅲ(医療英語基礎)	4前	○	1			○			7		5				オムニバス方式
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前			1			○							1	
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後			1			○							1	
	初修外国語(初級中国語)	1前			1			○							1	
	初修外国語(中級中国語)	1後			1			○							1	
	初修外国語(初級韓国語)	1前			1			○							1	
	初修外国語(中級韓国語)	1後			1			○							1	
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	○	1				○							3	共同
	情報科学(情報科学)	1前	○	2			○								1	
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1前	○	1				○							1	
	統計学(基礎統計学)	1後	○	2			○					1				
	統計学(医療疫学統計学Ⅰ)	3前	○	1			○					1			1	
	統計学(医療疫学統計学Ⅱ)	3後	○	1			○					1				
	物理学(物理学)	1前	○	2			○								1	
	化学(化学)	1前	○	2			○				1					
	生物学(生命科学)	1前	○	2			○								1	
	多職種連携(多職種連携入門)	1前	○	2			○			2		1	1		27	オムニバス方式
	自然科学入門(基礎数学)	1前				1	○								1	
	自然科学入門(基礎化学)	1前				1	○				1					
	自然科学入門(基礎生物学)	1前				1	○			1						
	多職種連携(多職種連携地域包括ケア実践演習)	3前			2			○				1			21	オムニバス方式
	医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	○	1			○								1	
	小計(34科目)	—	—	24	20	3	—			7	1	7	1		65	
専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅰ	1前	○	1			○			1						
	解剖学Ⅱ	1後	○	1			○			2		1				オムニバス方式
	解剖学実習	2前	○	1					○	2		2	1		3	オムニバス方式・共同
	生理学Ⅰ	1前	○	1			○			1					1	オムニバス方式
	生理学Ⅱ	1後	○	1			○			1						
	生理学実習	2前	○	1					○	1		1	1			共同
	生化学Ⅰ	1前	○	1			○			1					1	オムニバス方式
	生化学Ⅱ	1後	○	1			○			1					1	オムニバス方式
	生化学実習	2前	○	1					○	1		1				共同
	医学概論	1前	○	1			○			5		2			4	オムニバス方式・共同(一部)
	病理学	1後	○	1			○			1						
	薬理学	2後	○	2			○								1	
	栄養学	2後	○	2			○								2	オムニバス方式
	公衆衛生学	1後	○	1			○			4		2	1			オムニバス方式
	公衆衛生学実習	1後	○	1					○	1		1				共同
	関係法規	4前	○	1			○			2		1				オムニバス方式
	医療情報科学	3前	○	1			○					1				
	医用工学概論	2前	○	1			○					1				
	医用工学実習	2後	○	1					○			2				共同
	サイエンスライティングⅡ	3通	○	1			○			2						オムニバス方式
	小計(20科目)			22	0	0	—			7	0	5	1		12	

専門科目	臨床病態学Ⅰ	1後	○	1			○			1				1	オムニバス方式
	臨床病態学Ⅱ	2前	○	1			○			1					
	臨床病態学Ⅲ	2後	○	1			○			2					オムニバス方式・共同(一部)
	臨床検査医学総論演習	4通	○	1				○		2					オムニバス形式
	臨床血液学Ⅰ	1後	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	臨床血液学Ⅱ	2前	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	臨床血液学実習	2後	○	2					○	2		1		1	1 オムニバス方式・共同
	臨床血液学演習	4通	○	1				○		1		1		1	オムニバス方式
	臨床病理検査学	2前	○	1			○			1		1		1	1 オムニバス方式
	臨床細胞診断学	2後	○	1			○			1		1		1	オムニバス方式
	臨床細胞病理学実習	3前	○	3					○	1		1		1	共同
	臨床細胞病理学演習	4通	○	1				○		1		1		1	オムニバス方式
	臨床化学Ⅰ	2前	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	臨床化学Ⅱ	2後	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	臨床化学実習	3前	○	2					○	1		1			共同
	臨床化学演習	4通	○	1				○		1		1			オムニバス方式
	臨床検査学	1前	○	1			○			3		3			オムニバス方式
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	○	1			○			1					
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	○	1			○			1					
	臨床検査学総論実習	2後	○	1					○	1		1		1	1 オムニバス方式・共同
	臨床検査学総論演習	4通	○	1				○		1					
	核医学概論	2後	○	1			○								1
	遺伝子検査学	2前	○	1			○			1					
	遺伝子検査学実習	2後	○	1					○	1		1			共同
	免疫検査学Ⅰ	2前	○	1			○			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	○	1			○					1			
	免疫検査学実習	3前	○	2					○	2		1			オムニバス方式・共同
	免疫検査学演習	4通	○	1				○		2					共同
	輸血・移植学Ⅰ	3前	○	2			○			1		1			オムニバス方式
	輸血・移植学Ⅱ	3後	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	輸血・移植学実習	3後	○	1					○	1		1			共同
	微生物学	2前	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	臨床微生物学	2後	○	1			○			1		1			オムニバス方式
	微生物検査学	3前	○	1			○			1		1		1	1 オムニバス方式
	微生物学実習	3後	○	3					○	1		1			共同
	臨床微生物学演習	4通	○	1				○		1		1			オムニバス方式
	寄生虫検査学演習	3前	○	1				○		1		1			オムニバス方式・共同(一部)
	臨床生理学Ⅰ	2前	○	1			○			1					
	臨床生理学Ⅱ	2後	○	1			○					1			1 オムニバス方式
	臨床生理学実習	3前	○	3					○	1		1	1		2 オムニバス方式・共同
	画像検査学	3前	○	2			○					1	1		
	画像検査学演習	3後	○	2				○				1	1		1 共同
	臨床生理学演習	4通	○	1			○			1		1	1		オムニバス方式
	検査機器学	1前	○	1			○			2		4			オムニバス方式
	基礎機器分析演習	1前	○	1				○		2		3			2 オムニバス方式・共同
	臨床検査管理学Ⅰ	1前	○	2			○			1		3	1		1 オムニバス方式
	臨床検査管理学Ⅱ	2前	○	2			○			1		2			オムニバス方式
	臨床検査管理学Ⅲ	3前	○	2			○			1					
	保健医療福祉演習	4前	○	1				○		3		3			6 オムニバス方式
	総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	○	1				○		8		5	1		オムニバス方式
	総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	○	1				○		3		3			オムニバス方式
	総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	○	4				○		7		6	1		オムニバス方式
	医療安全管理学	2前	○	1			○			2		3			2 オムニバス方式・共同
	医療安全管理学演習Ⅰ	2前	○	1				○		6		5	1		2 オムニバス方式・共同
	医療安全管理学演習Ⅱ	4前	○	1				○		2		1			オムニバス方式
	臨地実習	3後	○	12					○	7		6	1		共同
	卒業研究	4通	○	6				○		7		6	1		共同
	医療データサイエンス入門Ⅰ	1後			1			○							1
	医療データサイエンス入門Ⅱ	1後			1			○							1
	健康食品学 ※1 ※2	3前			1		○			1		1			3 オムニバス方式
	食品関係法規	3前			1		○			1		1			オムニバス方式
	食品衛生学 ※1	4前			1		○								2 オムニバス方式
	コミュニケーション演習	3後			1			○		3		3			2 オムニバス方式
	サイエンスライティングⅠ	1前				1	○			2		3	1		オムニバス方式・共同
	小計(64科目)	—	—	91	6	1	—	—	—	8	0	6	1		27
	合計(118科目)	—	—	137	26	4	—	—	—	8	1	7	1		85

学位又は称号		学士(臨床検査学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)
卒業・修了要件及び履修方法			授業期間等	
全学教育科目30単位以上(うち必修24単位)、専門教育科目114単位以上(うち必修113単位)、 合計144単位以上修得する。 (履修科目の登録の上限:46単位(年間)) ※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。 ※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。			1学年の学期区分	2学期
			1学期の授業期間	15週
			1時限の授業の標準時間	80分

別記様式第2号(その3の1)

授 業 科 目 の 概 要				
(医療技術科学研究科 臨床検査学専攻 博士後期課程)				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目	生命医療倫理学特講	○	臨床検査学分野における研究者および研究指導者として信頼性のある研究を遂行するためには研究対象者の保護や研究不正の防止といった研究公正、研究安全、研究倫理の遵守が求められる。また臨床検査領域における研究を実施する際には研究倫理のみならず医療倫理の遵守やリスク予見、アクシデント対策といったリスクマネジメントが必要となる。本特講では、研究者および研究指導者として必要となる倫理やリスクマネジメントについての知識および倫理感の修得を目的とする。 オムニバス方式/全8回 (2 吉田繁/2回) リスクマネジメント、研究指導者としての倫理 (1 幸村近/2回) 医療倫理1、医療倫理2 (7 藏満保宏/2回) 生命倫理1、生命倫理2 (12 高橋祐輔/2回) 研究倫理1、研究倫理2	オムニバス方式
	最新臨床検査研究法特講	○	臨床検査学分野の研究範囲は多岐に渡る。研究動向の把握を行った上で研究課題を見出し、研究課題解決のための方策を遂行する能力を身につける必要がある。このため、各研究分野における研究手法を学ぶとともに、最新の臨床検査理論と高度で深い臨床研究の理解、病態診断に関連した課題に関して国際学会での発表に必要な質・量の研究成果を導き出すための研究立案と研究遂行能力を獲得することを目的とする。 オムニバス方式/全8回 (5 坊垣暁之/2回) 研究遂行の方法、細胞機能解析法 (3 田中真樹/2回) 実践的な顕微鏡とin vivo imaging systemの使用法、国際レベルでの研究発表 (4 遠藤輝夫/1回) 血液型抗原(赤血球・白血球)の解析 (9 丸川活司/1回) ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)標本を用いた分子病理学的解析 (6 松尾淳司/1回) 病原体と宿主細胞間の解析 (13 高橋祐司/1回) 脂質機能解析法	オムニバス方式
	生体機能解析学特講	○	生体の機能を把握することのできる様々な生体機能検査についての理解を深化するために、生体器官や疾患に関する最新の知識を身に付けるとともに、新しい検査法、解析法、様々な生体機能研究について学ぶ。また生体の機能を担う蛋白質などの分子が影響を及ぼす様々な生化学的検査についての理解を深化するために、種々の疾患における生体内蛋白質やその他の分子の動態に関する知識や、新しい検査法に関する知識や研究について学ぶ。 オムニバス方式/全15回 (1 幸村近/6回) 循環器系①生体機能検査、循環器系②関連分野の最新研究、呼吸器系①生体機能検査、呼吸器系②関連分野の最新研究、神経・筋・感覚器系①生体機能検査、神経・筋・感覚器系②関連分野の最新研究 (7 藏満保宏/6回) 生体機能分子①細胞骨格に関与する分子、生体機能分子②細胞内シグナル伝達に関与する分子、生体機能分子③サイトカインとホルモン、生体機能分子④免疫に関与する分子、生体機能分子⑤癌細胞に関与する分子、生体機能分子⑥代謝に関与する分子 (11 江本美穂/3回) 生体機能分子⑦抗酸化物質Ⅰ、生体機能分子⑧抗酸化物質Ⅱ、生体機能分子イメージングMRI/CT/EPR	オムニバス方式
	細胞病態学特講	○	血液学・腫瘍学・病理細胞学の分野から各疾患の病態を解明する。血液学と腫瘍学の分野では、発生機序や進展に関連した遺伝子とその作用を解析し、新たな治療法を探索する。さらにリンパ節転移を早期に発見できる新たな検査法を修得することを目的とする。病理細胞分野では、分子病理学的検索に用いられるホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)組織における固定化プロセス以外の核酸品質低下について分子細胞レベルで原因を探索し、がん種別分子病理学的検索法における解析方法の利点・欠点を修得することを目的とする。 オムニバス方式/全15回 (3 田中真樹/5回) 造血器腫瘍の生物学、頭頸部腫瘍の生物学、造血器腫瘍・頭頸部腫瘍の治療、癌転移のメカニズムの解明、分子細胞治療の概要 (9 丸川活司/4回) 病理診断と分子病理学的検索について、ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)組織を用いた核酸抽出法と品質チェック法について、がん種別分子病理学的解析方法について①、がん種別分子病理学的解析方法について③ (10 近藤啓/3回) 病理診断とプレジジョンメディシン(がんゲノム医療)、ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)組織を用いた遺伝子解析法、がん種別分子病理学的解析方法について② (12 高橋祐輔/3回) 血液疾患の生物学、血液疾患の病態解析と最新の動向、血液疾患の新規検査マーカー開発	オムニバス方式

専門科目	生体情報解析学特講	○	超高齢社会や新興感染症の発生といった国内外の社会的な変化に伴い、医療そして臨床検査学分野においてもそれら変化に対応するために、最新の知見に基づいた高度な研究活動が求められる。多くの疾患には遺伝要因と環境要因が関係することからゲノムや細胞レベルでの生体情報を活用し、診断、予後推測のためのバイオマーカーの探索や解析方法の創出は臨床検査学分野の重要な研究の一つと考えられる。本特講では、臨床検査学分野における新たなバイオマーカーの探索や解析技術の応用や創出のために、その基盤となるゲノム解析技術やバイオインフォマティクス、ヒトおよびモデル動物における病態解析や治療法について学ぶ。 オムニバス方式/全15回 (2 吉田繁/7回) ゲノムや細胞外核酸の構造、機能と疾患、核酸増幅検査技術の応用と発展、塩基配列解析検査技術の応用と発展、病原体ゲノム情報と感染症、ヒトゲノム情報と腫瘍、ヒトゲノム情報と遺伝病、バイオインフォマティクス (5 坊垣暁之/8回) ヒトゲノム情報と自己免疫疾患、遺伝子発現関連解析、免疫担当細胞の解析、細胞死異常関連解析、モデルマウス作成と解析、分子病態の解析、病態の理解1、病態の理解2	オムニバス方式
	分析化学検査学特講	○	分析化学検査は、研究室における分析にとどまらず汎用性も追求し臨床応用する必要がある。近年、医療における分析化学は特定の施設で行われていたものが、在宅医療などにおいても実施可能な検査技術の導入が望まれている。また、分析装置の進化に伴い膨大なデータを得ることが可能となった。このように分析化学を取り巻く環境は変化しつつあり、従来の分析化学手法の理解だけではなく、実用化やビッグデータの活用を見据えた能力が求められている。本特講では、分析化学検査の臨床における応用を理解すると同時に、データ解析に情報処理技術を駆使し、新たな疾患や予防医学に繋げられる理論的思考の修得を目的とする。 オムニバス方式/全15回 (4 遠藤輝夫/10回) 分析化学検査の臨床での応用、網羅的データ解析手法、分析化学の簡易化、小型化、病態診断と分析化学検査、認知症と分析化学検査、在宅医療への分析化学検査の導入、分析化学検査の今後の活用(1)、分析化学検査の今後の活用(2) (13 高橋祐司/9回) 分光分析法の応用、分離分析法の応用、質量分析法の応用、データ解析手法(1)、データ解析手法(2)、分析化学検査の今後の活用(1)、分析化学検査の今後の活用(2)	オムニバス方式・共同(一部)
	感染生物学特講	○	感染症を根本から理解するためには、感染の分子機構を理解する必要がある。そこで本講義では、寄生虫および細菌感染症に焦点を当てて、これら病原体がどのようにして感染症を引き起こすかについて、宿主による病原体の認識機構および病原体の免疫回避機構を通して学ぶ。また細菌感染については、細菌病原因子(毒素およびエフェクター)による細胞修飾機構および抗菌薬耐性獲得機構についても学ぶ。さらに、これら細菌感染の分子機構を解き明かすために必要な実験手法やその解釈についても学ぶ。 オムニバス方式/全15回 (6 松尾淳司/10回) 病原体を認識する受容体、寄生虫感染症の免疫応答、寄生虫による免疫回避1、寄生虫による免疫回避2、細菌感染症の免疫応答、細菌による免疫回避、細菌の遺伝子変異と修復、感染の分子機構解析法1、感染の分子機構解析法3、感染の分子機構解析法4 (14 山崎智弘/5回) 細菌毒素による細胞修飾、細菌の分泌装置1、細菌の分泌装置2、抗菌薬耐性の獲得、感染の分子機構解析法2	オムニバス方式
研究指導	臨床検査学特別研究	○	本科目は臨床検査学領域の研究能力を養うと共に、広い分野から独創的な研究テーマを選び方法論を確立し研究を遂行できる能力を得ること、さらにその成果を医学の分野に還元できる能力を修得することを目的とする。共通科目「生命医療倫理学特講」で修得した研究倫理や医療倫理を基礎に、「最新臨床検査学研究法特講」で修得した研究に対する思考力と技術を身に付け、学生が希望する専門性の高い研究について指導教員の専門領域から選定する。研究テーマ、研究の実施、論文作成、学会発表そして専門性の高い雑誌に論文投稿し、博士課程の修了に相応しい研究を完成させる。 (1 幸村近)生理学的手法を用いて生体の情報収集・機能解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (7 藏満保宏) 分子生物学的手法を用いて蛋白質の機能解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (11 江本美穂) 核磁気共鳴画像法を用いて生体の情報収集・機能解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導補助する。 (2 吉田繁) 分子生物学的手法を用い、遺伝子関連検査法の開発や評価を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (5 坊垣暁之) 分子生物学的手法を用い、遺伝子関連検査法の開発や評価を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (3 田中真樹)分子生物学的手法を用いて、腫瘍細胞の機能解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (9 丸川浩司) 分子病理学的検索に用いられるゲノム解析技術の安定化について解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導補助する。 (12 高橋祐輔) 分子生物学的手法を用いて、腫瘍細胞の機能解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導補助する。 (4 遠藤輝夫) 化学的分析方法を用いて診断、予防医学、在宅医療への応用に向けた情報収集と解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。 (8 鈴木喜一) 化学的分析方法を用いて診断、予防医学、在宅医療への応用に向けた情報収集と解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導補助する。 (6 松尾淳司) 感染症を引き起こす病原体について性状解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導する。	

			(14 山崎智弘) 感染症を引き起こす病原体について性状解析を行う。課題調査・研究計画立案・研究・研究論文作成・学会発表・論文投稿を指導補助する。	
--	--	--	---	--

学校法人東日本学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
北海道医療大学				北海道医療大学				
薬学部				薬学部				
		2年次	4			2年次		令和7年度学生募集停止 薬学部2年次編入
薬学科（6年制）	160		1,000	薬学科（6年制）	160	<u>0</u>	<u>960</u>	
		3年次	5			3年次		令和7年度学生募集停止 薬学部3年次編入
歯学部				歯学部				
歯学科	80	-	480	歯学科	80	-	480	
看護福祉学部				看護福祉学部				
看護学科	100	-	400	看護学科	100	-	400	
福祉マネジメント学科	80	3年次	330	福祉マネジメント学科	80	3年次	<u>320</u>	令和7年度学生募集停止 福祉マネジメント学科3年次編入
心理科学部				心理科学部				
臨床心理学科	75	-	300	臨床心理学科	75	-	300	
リハビリテーション科学部				リハビリテーション科学部				
理学療法学科	80	-	320	理学療法学科	80	-	320	
作業療法学科	40	-	160	作業療法学科	40	-	160	
言語聴覚療法学科	60	-	240	言語聴覚療法学科	60	-	240	
医療技術学部				医療技術学部				
臨床検査学科	60	-	240	臨床検査学科	60	-	240	
計				計				
	735	2年次	4		735	2年次	<u>0</u>	
		3年次	10			3年次	<u>0</u>	
北海道医療大学大学院				北海道医療大学大学院				
薬学研究科				薬学研究科				
薬学専攻（4年制D）	3	-	12	薬学専攻（4年制D）	3	-	12	
歯学研究科				歯学研究科				
歯学専攻（4年制D）	18	-	72	歯学専攻（4年制D）	18	-	72	
看護福祉学研究科				看護福祉学研究科				
看護学専攻(M)	15	-	30	看護学専攻(M)	15	-	30	
看護学専攻(D)	2	-	6	看護学専攻(D)	2	-	6	
臨床福祉学専攻(M)	5	-	10	臨床福祉学専攻(M)	5	-	10	
臨床福祉学専攻(D)	2	-	6	臨床福祉学専攻(D)	2	-	6	
心理科学研究科				心理科学研究科				
臨床心理学専攻(M)	20	-	40	臨床心理学専攻(M)	20	-	40	
臨床心理学専攻(D)	2	-	6	臨床心理学専攻(D)	2	-	6	
リハビリテーション科学研究科				リハビリテーション科学研究科				
リハビリテーション科学専攻(M)	5	-	10	リハビリテーション科学専攻(M)	5	-	10	
リハビリテーション科学専攻(D)	2	-	6	リハビリテーション科学専攻(D)	2	-	6	
医療技術科学研究科				医療技術科学研究科				
臨床検査学専攻(M)	4	-	8	臨床検査学専攻(M)	4	-	8	
				臨床検査学専攻(D)	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程変更(認可申請)
計				計				
	78	-	206		<u>80</u>	-	<u>212</u>	
北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校				北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校				
歯科衛生科(3年制)	50	-	150	歯科衛生科(3年制)	50	-	150	
計				計				
	50	-	150		50	-	150	